

みずほCustomer Desk Report 2023/02/06 号 (As of 2023/02/03)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値 GBP/USD	128.75 AUD/USD
TKY 9:00AM	128.78	1.0905	140.43	1.2220	0.7072
SYD-NY High	131.20	1.0940	142.32	1.2265	0.7080
SYD-NY Low	128.34	1.0793	139.98	1.2047	0.6919
NY 5:00 PM	131.20	1.0795	141.65	1.2049	0.6924

	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	33,926.01	▲ 127.93	日本2年債	▲0.0300%	0.0000%
NASDAQ	12,006.96	▲ 193.86	日本10年債	0.4800%	▲0.0100%
S&P	4,136.48	▲ 43.28	米国2年債	4.2855%	0.1875%
日経平均	27,509.46	107.41	米国5年債	3.6512%	0.1624%
TOPIX	1,970.26	5.09	米国10年債	3.5182%	0.1182%
シカゴ日経先物	27,645.00	90.00	独10年債	2.1920%	0.1340%
ロンドンFT	7,901.80	81.64	英10年債	3.0465%	0.0535%
DAX	15,476.43	▲ 32.76	豪10年債	3.3880%	▲0.1140%
ハンセン指数	21,660.47	▲ 297.89	USDJPY 1M Vol	12.25%	0.23%
上海総合	3,263.41	▲ 22.26	USDJPY 3M Vol	12.78%	▲0.17%
NY金	1,876.60	▲ 54.20	USDJPY 6M Vol	11.72%	▲0.12%
WTI	73.39	▲ 2.49	USDJPY 1M 25RR	▲0.92%	Yen Call Over
CRB指数	266.19	▲ 5.44	EURJPY 3M Vol	12.40%	0.02%
ドルインデックス	102.92	1.17	EURJPY 6M Vol	11.62%	▲0.07%

東京	東京時間のドル円は、128.78レベルでスタート後、前日に米金利が大幅に低下したことを受けて、128円台半ばまで下落。主要中銀の金融引締めサイクルが終わりに近づいたことが意識され日本株が上昇すると、ドル円も追従し128円台後半まで上昇。しかしその後、株価指数全体に下落圧力がかかると、ドル円は128円台半ばまで再び下落。引けにかけては小幅に戻し128.63レベルで海外時間へ渡った。
ロンドン	ロンドン時間のドル円は、128.63レベルでオープン。午後に1月米雇用統計の発表を控えて、膠着状態が続き、128.44レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外時間のドル円は128円台後半でスタート。米金利低下が重しとなり、128.34まで下落するが、米雇用統計の発表を控え、更なる売りは手控えられた。早朝に小幅値を戻し、128.44レベルでNYオープン。注目の米1月雇用統計では非農業部門雇用者数、失業率が予想以上に改善したことから賃金インフレの加速懸念が再燃し、米金利上昇とともにドル買いで反応し、130.20まで急伸。その後、10時発表の米1月ISM非製造業景況指数が予想を上回ると、ドル買いが再開し131.18まで上昇。午後は高値圏に張り付き、終盤には131.20まで高値を更新し、そのまま131.20レベルでクローズ。一方、海外市場のユーロドルは1.0900近辺でレンジトレード、1.0932レベルでNYオープン。米雇用統計の結果を受けてドルが買われると1.08レベル前半まで下落するが、その後、ユーロ円の上昇にサポートされたことから1.08レベル後半まで持ち直す。しかし、ドル買いの流れは止まらず、午後に入ると1.0800を割り込み、1.0793まで下落。終盤も特段反発する気配はなく、結局、1.0795レベルでクローズ。

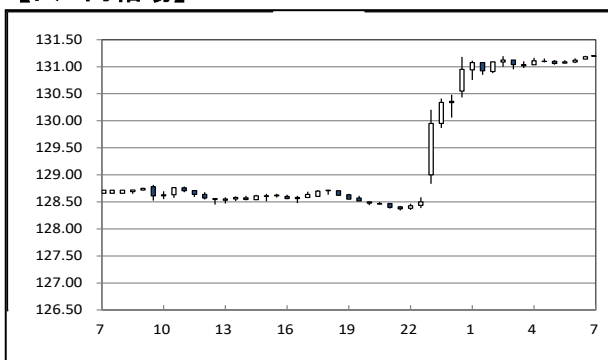
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
2月3日	19:00	欧 PPI(前月比)	12月 1.1%	-0.4%
	19:00	欧 PPI(前年比)	12月 24.6%	22.4%
	22:30	米 非農業部門雇用者数変化	1月 517k	188k
	22:30	米 失業率	1月 3.4%	3.6%
	22:30	米 平均時給(前月比)	1月 0.3%	0.3%
	22:30	米 平均時給(前年比)	1月 4.4%	4.3%
2月4日	0:00	米 ISM非製造業景況指数	1月 55.2	50.5

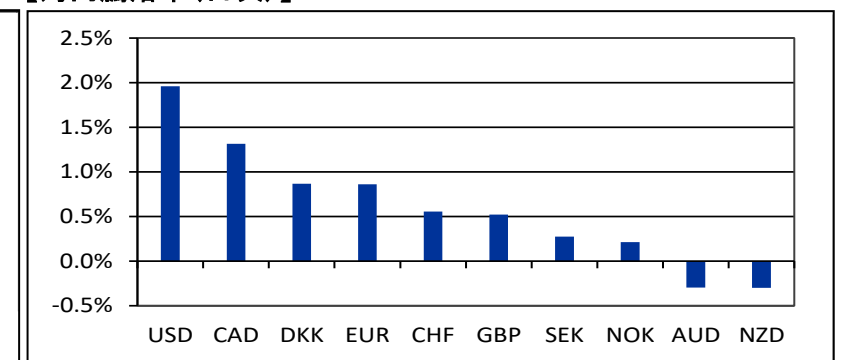
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
2月6日	19:00	欧 小売売上高(前月比)	12月 -2.5%	0.8%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	130.50-133.00	1.0700-1.0850	139.00-143.00

【マーケットインプレッション】

先週末のドル円は128円台後半でオープン後、米雇用統計の発表を前に横ばい推移。NY時間に入り、発表された結果はNFPが予想を大幅に上回り、失業率も予想以上に改善したことで、労働環境の逼迫と賃金インフレへの懸念が再燃。加えてISM非製造業景況指数も大幅に予想を上回ったこともあり、米金利上昇と共にドル円は131円台まで急騰し、そのまま高値圏で推移し131.20付近で越過。週初、早朝から日銀次期総裁に関する報道やヘッドラインを受け、一時132円台半ばまで上昇後、1円程度急落するなど荒い値動きとなっている。本日は短期的な過熱感の修正により、131.20との密埋めを視野に入れつつ、基本的には先週末からの米金利上昇、ドル高の流れを引き継ぎ、ドル円は底堅い推移を想定している。一方、日銀次期総裁への注目度が高まっており、今後もヘッドラインを受け一喜一憂し、荒い値動きとなる可能性があることには留意したい。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 逸見・逸見